



今村 定一

# 町民全体の目が 教育に向けられるよう 取り組んでほしい。

## 質問

平成21年度は湯沢町の教育行政の新たなスタートと考え、教育長の指揮の下、町民全体の目が教育にむけられるよう取り組んでいただきたい。教育長としての考えを示していただきたい。

## 教育長答弁

私は長年の教員生活の中で、教育とは教育基本法第一条の目的に向かって幼稚園から小中学校の義務教育において「知徳体」のパラメータ教育だと考えています。私のキーワードは、基本的な生活習慣、心豊かな人間の育成。これが私の基本理念であります。

## 質問

教育委員会のあるべき姿はどのように考えているか。

もつと町民に評価され開かれた教育委員会であるべきと思うが。

## 教育長答弁

教育委員会が逆に目立たないことは比較的各学校が事故事件が無く安定していることを示していることだと思います。

これから湯沢町が抱えているいろいろな喫緊の課題がありますので、そういったものを通じて教育委員会の立場・業務などを町民に伝わるように努力してまいりたいと思います。

## 質問

特別支援学級の不登校問題について感じたこと及び対応と今後の取り組みについて

## 教育長答弁

特別支援学級に限らず、当然不登校はあつてはならないことと認識しています。解消していかねばならないことでもあります。私も今回の件は認識しています。生徒も現状では普通通り登校していると報告を受けています。この児童に限らず、本人や家族とのコミュニケーションを図りながらきめ細やかな指導、適切な教育指導を心掛けるよう取り組んでいきたいと考えています。

## 質問

介助員の研修支援について

## 教育長答弁

介助員等の町独自の研修等は難しい事案であります。

今月二十三日に小出養護学校が中心になって小出文化会館で第一回特別支援教育コーディネーター養成研修会が二回にわたって開催されると伺っています。町でも特別支援教育に係わっている介助員も含めて参加して研修を受けられないか各校長先生にお願いをしております。今後ケースバイケースで出来ることはやりたいと思えます。

## 質問

中学2年生の3クラスの現状と3年時の教員配置の方向について

## 教育長答弁

町、県教育委員会と特別協議を行って三学級にしたところですが、これは少人数の学級で個々の生徒へのきめ細やかな対応することにより、学力の向上を図るために行つたものであります。教員増は求めずに実施し



答弁中の清水道夫新教育長

ていることから、学年主任をはじめ先生方の忙しさは増していることは事実であります。今年度になり二年生のトラブルは一件も無く、保健室通いの生徒も減少し、教室の広さも余裕が出来たことから生徒にも気持ちのゆとりができ、落ち着いた状態であると伺っています。教員の加配や増員の要望については、人事異動の時期を見て学校長と相談しながら県に要望をしてまいります。

一般質問